

2020 年度 GC 研究センターアカデミック茶話会 (2021 年 3 月 13 日)

小坂田裕子 (中京大学)

【2020 年度活動報告】

①先住民族の権利に関する研究

「先住民族の個人認定をめぐる国家、集団、個人の対立」『現代国際法の潮流 II—人権、刑事、遵守・責任、武力紛争』東信堂、2020 年

“Indigenous Peoples as Actors in International Law-Making: Focusing on International Environmental Law”, *Changing Actors in International Law*, Brill, 2020 (Chapter 4,)

“An examination of arguments over the Ainu Policy Promotion Act of Japan based on the UN Declaration on the Rights of Indigenous Peoples”, *The International Journal of Human Rights*, September 2020

②難民及び庇護希望者の権利に関する研究

「難民及び庇護希望者の労働の権利—難民条約と社会権規約の比較検討—」『政治主体としての移民/難民：人の移動が織り成す社会とシティズンシップ』明石書店、2020 年

③入管収容に関する研究

(坂東雄介, 安藤由香里との共著)「大村入国管理センターに聞く — 被収容者の実態に関するインタビュー調査」『商学討究』(小樽商科大学紀要) 第 71 巻 2/3 号 (2020 年)

(坂東雄介, 安藤由香里との共著)「柚之原寛史牧師に聞く — 被収容者支援の実態に関するインタビュー調査」『商学討究』第 71 巻 2/3 号 (2020 年)

「【座談会】収容・送還に関する専門部会による提言の検討」(司会)『法律時報』1156 号 (2020 年 10 月)

④ビジネスと人権に関する研究

「東京 2020 大会木材調達基準における先住民族の権利—森林認証制度の可能性と限界」(2020 年 9 月 11 日報告、未公表)

【2021 年度研究計画】

「ビジネスと人権」に関する研究としては、引き続き、上記④のテーマを取り扱うと共に、「アナと雪の女王 2」(Frozen 2) の制作過程におけるディズニーとサーミ議会及びサーミ協議会の協力関係について研究を行う予定。